

田んぼダムだより ～第9号～

農家の皆さまにご協力いただいている「田んぼダム」については、令和5年度末時点で、617haまで拡大することができました。来年度以降も引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

◆令和5年度田んぼダムマイスター研修会の開催

田んぼダムの県全体への普及・拡大に向けて、昨年度に引き続き、「田んぼダムマイスター研修会」を実施しました。

本研修は、各地域で田んぼダムの取組みを牽引する人材「田んぼダムマイスター」の育成を目的に多面的機能支払交付金ブロック会議と連携して、県内5会場で実施しました。

研修会には、多面的機能支払交付金活動組織を中心に5会場合計で1,048名の参加がありました。

<実施会場及び参加人数>

2月 9日(金)	熊本市 火の君文化センター	305名
2月13日(火)	大津町 文化センター	182名
2月15日(木)	天草市 市民ホール	115名
2月19日(月)	八代市 桜十字ホール	231名
2月21日(水)	長洲町 ながす未来館	215名
合 計		1,048名

今年度の内容は、田んぼダム実施に向けた補助事業の活用方法や田んぼダム専用の機能分離型排水桝の特徴を説明しました。また、百太郎溝土地改良区※における田んぼダムの取組みを市田事務局長に講演いただきました。参加者に向けて「田んぼダムの効果は見えにくいですが、必ずどこかで地域の防災に繋がっています。まずはやってみましょう!」と推進への強い想いを込めたメッセージを送っていただきました。

本研修会で使用した動画とパンフレットは、県HP内の「田んぼダム取組み推進」または、以下のリンク及びコードから閲覧できます。

【URL】

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/85/162369.html>

【QRコード】



※百太郎溝土地改良区は、令和3年度から田んぼダムに取り組み、これまでにあさぎり町、多良木町、湯前町の水田159haで取組み中。独自に勉強会を実施するなど積極的に田んぼダムを推進されています。



会場の様子



百太郎溝土地改良区市田事務局長による講演

◆全県へ普及拡大するための取り組みを紹介！



R5.9.5実施 百太郎溝土地改良区勉強会



R6.2.28実施 熊本市土地改良区
連絡協議会勉強会

田んぼダムの取り組みを全県へ普及拡大するため、市町村や土地改良区に出向き、田んぼダムの仕組みや効果、補助事業の活用方法に関する説明を実施しています。

これまでに熊本市土地改良区連絡協議会総会や人吉・球磨地域多面的機能支払交付金連絡協議会へ出席し、説明を行いました。また、水田の多い市町村へ出向いて意見交換会を実施し、推進するうえでの課題に関する意見などをいただき、大変有意義な意見交換会になりました。

今後も田んぼダムを全県へ普及していくため、説明会や意見交換会と併せて、イベント等の広報活動を実施していきたいと考えています。

◆南陵高校が全国高校生農業アクションで準グランプリを受賞！

県と南陵高校で連携した田んぼダムの取り組みについて、これまで、校内の実証ほ場で田んぼダムの観測や中学生への出前講座などを行ってきました。

令和5年11月6日(月)に東京都で行われた全国高校生農業アクション大賞審査会においては、南陵高校で取組まれた田んぼダムを含めた防災減災の内容を『球磨モンの水土林Project』と題し、農業科環境コース2年の生徒が発表しました。

全国高校生農業アクション大賞とは、農業高校などの高校生たちが3年間に渡りグループで取組む“食”と“農”に関する課題研究を表彰するものです。

審査の結果、故郷を災害から守る取り組み内容が認められ見事“準グランプリ”を受賞されました。南陵高校とは、今後も連携を続け、田んぼダムを推進していきます。

